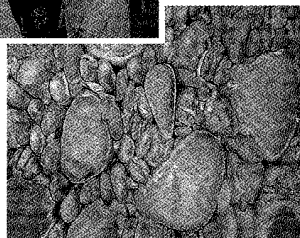


ない所にありました。石室に入ってみると、壁が大小の石で組まれて、きれいに並べられている。ことに当時の技術や美的感覚を伺うことができ、感動しました。古碑では、高崎観光ガイドの会の説明により、群馬が古代に文化の中心地であったことをその場所一帯の、小高い山、平地、川のある地形を眺めながらしのぶことができました。

夏には、いせさきまつりに合わせ、子育てと連携して、児童生徒の絵画、習字、工作を集め、「子ども作品展」を行っています。今年は五五七点の作品が集まり、台風接近で悪天候の中、多くの市民に參觀してもらいました。

秋の研修は、高崎市の上野国分寺跡、日本絹の里、保渡田古墳群を見学しました。上野国分寺跡は、発掘調査で新たな遺構が発見され、タイムリーな訪れとなりました。絹の里では、群馬の絹産業の歴史を学ぶことができました。二子山古墳の周りのコスモス、作られた当時の姿を復元してある八幡塚古墳は印象に残



りました。かみつけの里博物館の職員に、東国文化についての説明を聞くことができ、古代の群馬の地が重要なところであったことを学び、誇りに感じることができました。

富岡ユネスコ協会

会長 高橋總一郎

新年おめでとうございます。

昨年は、当ユネスコ協会にとつて富岡製糸場と絹産業遺産群がユネスコ世界遺産登録になり又、秋には一部施設が国宝に登録され、同時にその瞬間に立ち会えたことは、会員並びに合唱団の子供たちにとつても大変喜ばしく、感動した一年で有りました。

これからも私たちは、未来永劫、「富岡製糸場」の普遍的な価値と保存を通してユネスコ精神を引き継ぎ、教育・科学・文化の交流を通し、世界平和と人類の福祉の実現に向け、世界に誇れる街づくりを目指して行きたいと思えます。

さて、今年は二年に一度実施しております国際理解バスの年度であり、八月二十四・二十五日に少年少女合唱団員と共に国際理解バスを挙行させて頂きミクロネシア大使館への訪問による異文化交流、JICA地球ひろばにて国際協力や発展途上国について学習してまいりました。

又、本年は十月二十八日(群馬県民の日)に、小学生を対象に器械製糸?ホンモノを調べに行こう、碓井製糸場・碓氷

峠鉄道村・めがね橋を巡るスタディツアーを開催いたしました。

十一月九日には、かぶら文化ホールで行われた秋川雅史コンサートツアーに少年少女合唱団が友情出演致し団員にとつて大変思いで深い年になったのではないのでしょうか。

今年度も世界中の学校に通えない子供たちの為に書き損じハガキの募集・回収等の事業を推進しておりますので今後とも尚一層のご指導・鞭撻、ご支援いただけますようお願い申し上げます。



安中碓氷ユネスコ協会

会長 矢野 薫

当ユ協では一、毎年ユネスコ座談会。二、国際交流の集い。三、年間を通してのユネスコ英会話教室。四、ユネスコスクールの普及活動をしています。



ユネスコ座談会では市内の六中学校からたくさん生徒が参加しておこなわれました。テーマを「カンボジアの地雷処理」としてNPO法人カンボジアフレンド協会の理事長の方に講師をお願いいたしました。カンボジアの国内紛争によって起きてしまった悲惨な状況について、映像を見ながら、危険と隣り合わせの地雷処理の仕事についての説明があり、参加者全員が、世界平和の誓いを胸に座談会を終わりました。

国際交流の集いでは市内中高八校の生徒の参加があり、安中市在住の外国人とその友人の方々十三名で大会議室は満員になり盛況でした。テーブルごとの歓談から立食パーティや挨拶ゲームなど参加者の皆さんとの一時間半の交流を楽しみました。いろいろな国の人々と交流すること、お互いの文化の相違を理解し、心に平和な世界を築くきっかけになればと二、三年前から始めた事業です。

英会話教室については小、中学生を中心に安中、松井田地区で五会場をつ